

エネルギーパフォーマンス実績／補足事項

■ 報告範囲

- 原則としてポートフォリオ全体を対象とします。

■ 集計期間

- 集計期間は各 4 月～3 月とし、原則として年次で実績を更新します。

■ 算出方法・排出係数について

- 原単位は（電気や CO2 等の総量）÷（（持分換算床面積（㎡））×（入居率（年平均）（%）））として計算します。
- 計算における「持分換算床面積」は、以下の前提条件を基に算出した面積を使用します。
 - ・住宅部分は当該物件の延床面積から除外する。
 - ・原則として持分換算での床面積を報告範囲とする。
- 燃料の標準発熱量やエネルギー源ごとの GHG 排出係数については、環境省・経済産業省の「エネルギー源別標準発熱量及び炭素排出係数」「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」に基づいています。

※標準発熱量については[こちら](#)を、GHG 排出係数については[こちら](#)をご覧ください

■ 補足データ（水）について

- JRE で再利用（リユース）した水の量は以下の通りです。
 - 2016 年度：124,958 ㎡（水使用量全体の 12.77%）
 - 2017 年度：109,077 ㎡（水使用量全体の 11.19%）
- JRE の保有物件での水消費はすべて公営水道から供給されたものです。

(参考) 算出方法等の詳細

前提条件

項目		使用データ	計算方法
電気使用量	総量	電気	電気使用量 (MWh)
	原単位		電気使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
燃料使用量	総量	都市ガス・A重油・軽油・灯油	左記データをMWhに換算し、記載
	原単位		燃料使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%)) 原単位分母は燃料未使用の物件も含む全物件の合計
その他熱消費量	総量	地域冷暖房 (DHC)	左記データをMWhに換算し、記載 原単位分母はDHC未使用の物件も含む全物件の合計
	原単位		DHC使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
水使用量	総量	上水	上水使用量 (㎡)
	原単位		上水使用量 (㎡) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
CO2排出量	総量	電気・燃料・熱消費量をCO2換算したデータ	CO2排出量 (t-CO2)
	原単位		CO2排出量 (t-CO2) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
Scope1	総量	燃料をCO2換算	CO2排出量 (t-CO2)
	原単位		CO2排出量 (t-CO2) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
Scope2	総量	電気・DHCをCO2換算	CO2排出量 (t-CO2)
	原単位		CO2排出量 (t-CO2) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))

※共有物件：建物全体での消費量データに持分割合を乗じた値を報告しています。

区分所有物件：直接測定した、区分所有部分（賃貸可能面積）についての消費量データ、および実測した建物の共用部全体または一部の消費量データを基に、JREの共用部持分に相当する値に推計した消費量データを報告しています。

区分所有部分の消費量データを直接測定できない場合は、建物全体の消費量データに持分を乗じた値を報告しています。

(注) 恵比寿ネオオート、NHK広島センタービル、リットシティ、TIXTOWER UENO、AER、クイーンズタワーA

※期中取得・譲渡物件の原単位分母の補正はしていません。

※報告されているエネルギー消費量、水消費量は、JREが管理権限を持たないテナント専用部におけるテナントの活動由来の消費量も含んでいます。

また、テナント専用部でのエネルギー消費に由来するGHG排出量は、JREの保有不動産からの排出量として、Scope1およびScope2に計上しています。

一方、JREならびにJREAの自社オフィスにおける消費量・排出量は計上しておりません。